

# Point

2021/11/5 No. 7

JR東労組青年部

(東日本旅客鉄道労働組合青年部)

発行責任者 武田 太希

**これが若手の声だ！**

**会社は青年部員や若手社員の現実に向き合え！**

## 【苦しい生活実感】

・月々の給料が少なくボーナスを切り崩して生活しているため、ボーナスがカットされることが続くと生活できなくなる ・将来への備えができない  
・生きていくだけでしんどい、あったものがなくなる喪失感 ・ローンなどの支払いは無いが、旅行や物の購入の金額を抑えており、これ以上の削減だと生活費が払えなくなる ・車の維持費、車検代が払えない ・新居も考えていたが白紙になった ・子育てにお金がかかるため貯蓄を切り崩さなければならぬ ・奨学金の支払いができない ・子供を考えられない ・労働意欲がわからない ・基本給が低いので不安 などなど…

## 【会社に対する思い】

・赤字だからと言うが、黒字の時も出せない理由を並べて、絞るだけ絞ってきたではないか！ ・赤字ではあるものの、昨年よりも上向きになっているのは、会社が言う、変革や黒字化に向けて、社員が奮闘してきたからではないか！ ・本当に社員を大事に思うのであれば、社員の皆さまへなどでの上部だけの感謝ではなく、形として今こそ出すときではないか！ ・安全安定輸送を実現してきた努力に対して、誠意を示せ！ ・フカサワチャンネルも「成長投資、人材投資は止めない。これはお金に限ったことでは無い」と社長が言っていたが、ボーナスを出す気が無いと言ったことなのか？  
・お金が貰えずともやりがいを感じられるなど経営陣は思っているのか！ ・会社の存続のために社員の賃金を下げるという考えは労働者軽視であり会社への信頼を損ねる結果にしかならない！ ・魅力がなくなっていることに気がついていない会社はどうかしている！ ・社員の生活を考えもしない会社の経営姿勢はなんなのか？ ・会社だけが儲かれれば満足なのか？ ・役員が自主返納するのではなく最初から役員報酬を下げればいいのか？ ・ボーナスと福利厚生でこの会社を選んだので、なくなったら何も良いところが残らない ・ヒトを起点にした価値・サービスの創造と言うが、現実には低賃金で多様な働き方を目指しているのでは？ ・もう社員・家族の幸福などと謳うな！ ・「賃金水準は低くはない」「社員の生活は個人の話」と切り離し「決めたことには従え」という会社の質が出ているのでは？ ・減らすなら俺たちのすずめの涙ほどの給料じゃなくガッポリ貰ってる役員の給料を減らせ！ ・身の回りでは若手の退職が非常に多い。JR東日本のブランドは地に落ちている などなど…

## 【賞与の削減などを行う可能性が言及された 10月28日の記者会見について】

・モチベーションが下がった ・本来人件費のカットは他のコストカットを試した後に最後にカットするものではないか？ ・真っ先に記者会見で人件費カットの発言をするのは、世間の同情を誘おうとしているスリいやり方ではないか？ ・株主の顔色を伺うようなご機嫌取りの発言 ・メディアに発信することで世論にも手当を出さないと公言しているのと同じだ！ ・社員の理解もないままに、先にネットニュースや報道に対して、「賞与カットを行うなど」と怒りでしかない！ 社員を馬鹿にするな！ ・魅力ゼロの会社だ！ などなど…

**社友会ではこのような声があっても交渉できません！！！！  
労働組合に結集し、年末手当の満額回答を勝ち取ろう！**

